2025年6月22日(土)

東愛知新聞

節目を前に奮起呼び掛け

豊障連大会で山下会長

豊橋障害者（児）団体連合協議会（豊障連）の「第24回豊障連大会」が21日、豊橋市総合福祉センター「あいトピア」で開かれた。

あいさつする山下会長＝「あいトピア」で

山下徹会長は「新型コロナウイルス禍の影が薄まり、活動も元に戻った。来年は25周年を迎えるが、豊橋の福祉もだいぶ変わり、若い会員があまり入らないことなどもあり、今後の会の運営に思うところもある」などと述べた。そして「周年を前に1年間、今一度団体の役割や方向性などについて考え、意見を出し合っていこう」と呼び掛けた。長坂尚登市長、小原昌子市議会議長らの来賓あいさつの後、山下会長から前年度事業報告や「納涼夏祭り」「文化祭」といった新年度事業計画などが発表された。

議事後は、演奏家で作曲家のえんじろう氏による記念講演「オカリナと生きる夢～障害を土壌にした生き方」があった。

豊障連は2001年設立。「豊橋身体障害者(児)福祉団体連合会」「豊橋身体障害者協会」「豊橋市聴覚障害者協会」「豊橋市手をつなぐ育成会」「豊橋市肢体不自由児(者)父母の会」「豊橋精神障害者地域家族会くすのき会」の6団体で構成する。

【田中博子】

2025年6月22日(土)

東日新聞

あいさつする山下会長（あいトピアで）

豊障連大会で山下会長

25周年の節目へ今後の運営で意見募る

障害者（児）やその保護者らで作る6団体から成る豊橋障害者（児）団体連合協議会が21日、豊橋市前畑町の市総合福祉センター「あいトピア」で「豊障連大会」を開催した。障害者（児）とその保護者らが参加した。

冒頭、山下徹会長が「豊障連も来年で25周年を迎える。節目を前に、今後の運営について考える時が来ていると思う」と述べた上で「会員が減少し、特に若い世代の参加が少ない。市と連携して施策作りなどに参画しているが、今後は会に参加していない人の意見なども聞いていくべきではないか。今後どうしていくのが良いか、皆さんの意見も聞きたいのでよろしくお願いしたい」とあいさつして開会した。

2024年度に開催した事業の報告や他団体との連携活動、管理を委託されている豊橋市障害者福祉会館「さくらぴあ」の管理運営状況などの報告もあった。

大会後は講演会が行われ、オカリナ演奏家で作曲家のえんじろうさんが講演と演奏を行った。

（大林恭子）